

KURA

くら

2 2013 February
No.134 定価780円

山の幸 海の幸

北陸新幹線が未来を結ぶ



信州遺産
旧和学校校舎

〔東御市〕

玉村豊男の食×旅

玉さんのおいしい信州

ふくど旅

〔諏訪市〕

唐木さち

野の花と暮らす

[玉村豊男×食×旅]

玉さんのおいしい信州 ふ〜ど旅

風 土

FOOD

旅・その10

【諏訪市×諏訪湖の恵み】

文・イラスト=玉村豊男 写真=鶴野 力

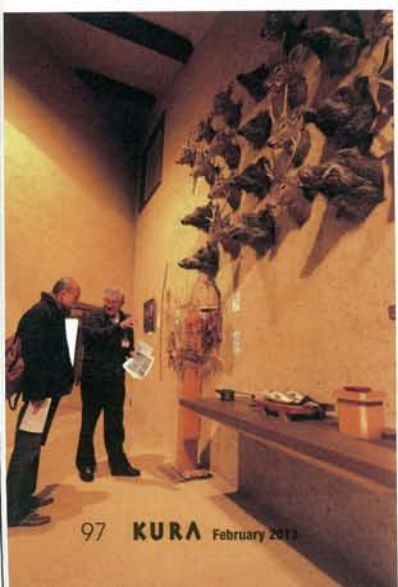


今号の玉さんは、諏訪市へ1周16km。信州で一番大きな湖・諏訪湖は、太古の頃より生きる者全てを育み慈しんできた。そこで生まれた食は文化遺産たり得る伝統を持ち、気候・風土が醸す地酒にほろ酔い加減。厳寒期は気温がマイナスの日々、空っ風、抜けるような青空。“諏訪だから”いただける恵みを存分に堪能した玉さんなのでした。また今回は、大物CMタレント発掘の瞬間もあり?!

おいしい信州ふ〜ど(風土)宣言

～プレミアム・オリジナル・ヘリテイジ～

昨年、阿部知事が、地産地消からさらなる展開へと「おいしい信州ふ〜ど(風土)」宣言がなされた。豊かな信州の風土から生まれた食べ物を“プレミアム”“オリジナル”“ヘリテイジ”の3つの基準にし表現。積極的に発信し共有していく。





旅館「朱白」の窓辺から見た、諏訪湖の雪景色、まだ明けたばかりの朝、湯上りの肌に冷気が心地よい

Column

双泉の宿「朱白」

諏訪湖を望む湖畔の宿は数多いが、二種類の源泉が楽しめるのはこの旅館だけ。茶色のお湯と白い(透明な)お湯が引かれていることから名づけられたが、とくに茶色い「朱」の源泉は旅館の直下百六十メートルの地盤から湧出しているといい、生まれたての新鮮な湯が肌を癒す。寝る前には湖上の夜景を見ながら、朝は夜明け前の朝もやの中で、心ゆくまで温泉を楽しめる。夕食の膳は、華やかな旅館料理の演出を凝らしながらも、隅々にまで神経と工夫の行き届いた手を抜かない品ばかり。おなかはいっぱいになったが、最後まで楽しんで完

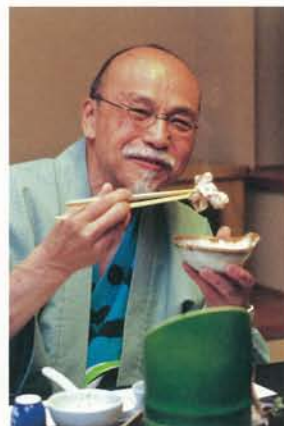
壊滅したときにまた諏訪が供給元になったこと、などが挙げられるのではないかと、ということだった。が、ゆつくりとした口調で説明してくれる平馬さんの横に座ったお父さんの宮坂水穂相談役が、「なにしろ、味噌は健康にいいからね」といつてその話を引き取った。背筋をピンと伸ばして大きな声で語る豊饒とした姿からは想像もできないが、なんと御年百歳だそうだ。

「毎日、食事のときはかならず味噌汁を飲む。それが健康長寿の秘訣だね」
 凄い。誰もが納得しないわけにはいかない、こんな強力な信州味噌のCMタレ



食した。アルビコグループの底力が垣間見える、コストパフォーマンスの高い宿といえるだろう。

上諏訪温泉双泉の宿 朱白
 〒368-0001 諏訪市湖岸通り3-2-2 ☎0266-52-2660 IN / 15時
 OUT / 10時 料 1万2750円〜 〇あり 〇可



文イラスト
 玉村 豊男

エッセイスト、画家、農園、ワイナリー経営
 自園自醸のワイナリー、カフェ、ショップ、ギャラリーを加えた「ヴィラデストガーデンファーム アンドワイナリー」は農園ビジネスのモデルケース。最新刊「隠居志願」(東京書籍)が好評発売中

ントがここにいたとは。水穂さん、ぜひテレビのコマーシャルに出てください。